



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2002-2003

11月 ガバナー月信

No.5

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760 2002年11月1日発行

前田利家画像



11月は、 ロータリー 財団月間です。

ガバナーメッセージ	2
「座談会」如何にして、全ロータリアンに 誇りと連帯の感動を与えるか...	3
地区ロータリー財団セミナー ...	7
ガバナー公式訪問	8
第2回地区諮問委員会	11
職業奉仕委員長会議	11
クラブ奉仕委員長会議	12
広報・雑誌委員長会議	12
新世代委員長会議	13
2003～04年度地区スタッフ決定 ...	14
地区大会のご案内	16
特別寄付報告	17
ポール・ハリス・フェロー	17
文庫通信	18
出席報告	19

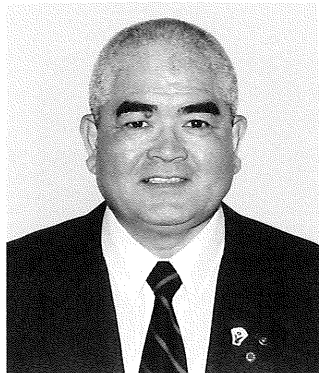
国際ロータリー第2760地区 ガバナー 岡部 快圓
〒460-0011 名古屋市中区大須2-21-47 大須観音宝生院内
TEL 052-229-8110 FAX 052-232-1023 E-mail: governor02-03@rotary2760.org

Governor Message

ガバナーメッセージ

ガバナー 岡部 快圓

会長さん、幹事さん、会員の皆様お元気ですか。公式訪問の折りには、こころ温まるご歓迎を頂き、ロータリアンの友情のありがたさを痛感している次第です。



今月はロータリー財団月間ですが、先月財団の緊急課題であるポリオのお願いを致しましたので、今月はクラブ訪問をして感じた変わってはならないロータリーの哲学について考えてみたいと思います。

ロータリーとは職業人の理想を現実近づけようとする実践哲学である。人の心には、限りなく利益を追求したいという欲望がある反面、己を犠牲にしても恵まれない弱者のために奉仕をしなければならないという義務感があり、この両者は常に葛藤を繰り返している。この全く相反する二つの心を調和する哲学こそ、ロータリーにおける奉仕の心、つまり「利己と利他との調和」である。ロータリーでは、この哲学を二つの標語、He profits most who serves bestとService Above Selfとして表現している。

ロータリークラブとは、ロータリーが提唱する奉仕哲学を受け入れ、それを実行する職業人の集まりである。奉仕哲学を学ぶ場はクラブの例会であり、奉仕の実践活動は、原則としてロータリアン個人に委ねられているが、これは、クラブ・レベルの団体奉仕活動を全て否定するものではない。

ロータリアンはそれぞれが属する職場や地域社会や国際社会で、無限に広がる奉仕の機会を持っている。しかし、現実の問題として、いざそれを個人レベルで実践に移す段になると、そう簡単にできるものではない。個人個人には行動力の差があるし、目の前にぶらさがっている奉仕の機会に気づかない場合もある。何処にどのようなニーズがあるのか、どのようにして奉

仕にニーズを見つけだすのか、どの程度またはいつまで行えば良いのか、事後処理はどうしたらよいのか、マンパワーは、財源はと考えると、ついつい、実践に移すことにためらいが生じてくる。

そこで、ロータリアン個人に奉仕の実践を促す教科書として、ロータリークラブがサンプル的な奉仕活動を実施する必要性が生じてくる。

奉仕活動の実践はロータリーのみに与えられた特権ではない。ロータリークラブとロータリアンが示す実践によって、ロータリー哲学に基づいた奉仕活動の有効性を同業者や社会一般の人に実証し、広げていかなければならない。

ロータリー哲学は実践哲学であり、いかに奉仕の心を説こうとも、実践の伴わないロータリー運動は存在せず、ロータリアン個人による実践と共に、クラブによる団体奉仕の実践も必要である。

ただし、クラブによる団体奉仕には次の条件をつける。

- * 地域社会が本当に必要としてみるプロジェクトであること
- * クラブ全員の協力が得られるプロジェクトであること
- * 毎年異なった新しいプロジェクトであること
- * 年度内に完結するプロジェクトであること
- * 教育的効果を狙って継続的に行われているプログラムとは異なったプロジェクトであること

ロータリークラブの目的は社会活動の実践を行うことではなく、社会奉仕活動の必要性を会員に自覚させ、更に、地域社会の人々を取り込んで実践させることにある。従って、たとえクラブが団体的な奉仕活動を行ったとしても、それは教育的効果を狙ったサンプルに限定され、他の団体や組織が既に実施している活動を横取りしたり、模倣するものであってはならない。最初はロータリークラブが手掛けた活動であっても、その活動に専念できる組織が現れたら、それに任すべしだし、むしろ、そういった専門組織を作り育てることがロータリーの役目である。ロータリーの原則を忘れないようにしましょう。

ロータリー財団委員会座談会

テーマ

「如何にして、全ロータリアンに誇りと連帯の感動を与えるか」

出席者 委員長：石川 敬

委員：中北智久、鈴木 薫、本多啓一、深谷友尋、松野一彦

進行係：地区副幹事 吉田隆彦、浅井隆宣

司会：11月の「ロータリー財団月間」を迎えるにあたり、今回はロータリー財団委員会の皆様にお集まりいただきました。まずは、ロータリー財団について石川委員長からご説明いただけますでしょうか。

石川：まず、ロータリー財団は国際ロータリーから独立した機関ではありません。国際ロータリーの活動は多岐に及んでいますが、その活動の大半はロータリー財団に寄せられた寄付金で行われています。そこで、ロータリー財団ではその資金をもとに、国際ロータリーが奉仕活動をどう方向づけるかを全面的にサポートしながら、さまざまな事業計画や奉仕プログラムを作り、実施しています。ですからロータリー財団というのは国際ロータリーの国際奉仕部門の一つであり、“ロータリー財団、すなわち国際ロータリー”とご理解いただければ間違いありません。

司会：つまり国際ロータリーの目的を達成するための実質的な活動拠点、ということでしょうか。

石川：そういうことです。やはり、活動するため、組織を維持するためには資金が必要です。皆さんからの年次寄付は「シェア・システム」という形でR I財団の方に処理を委ねられており、3年間の据置と40%は国際活動資金（WF）となり、60%は地区活動資金（DDF）として分かち合う仕組みになっています。そしてWFはR Iが世界各地の国際的プログラムに、D

DFは各地区が選ぶ地元プログラムの資金としてフレキシブルに活用できるというわけです。

司会：そのDDFが各活動プログラムに配分されるという流れだと思いますが、具体的にはどんな活動プログラムがあるんでしょう。

石川：ご承知の通り、ロータリーは「ゾーン」という組織で統一します。日本は4つのゾーンに分かれており、2760地区はアジア第3ゾーンに包括されるわけですが、2002年4月の管理委員会で「教育的プログラム」

「人道的補助金プログラム」「ポリオ・プラスプログラム」の3つをこのゾーンの最大プログラムとしよう、と決定しました。ですから従前のDDFの選択分野である、人道的、教育的、プログラム強化、寄贈分野とは若干、異なってくるわけです。とくに今年度は人道的分野としてポリオ・プラスが最大の脚光を浴びており



石川 敬

中北 智久

ます。

司会：では、なぜ今、ポリオ・プラスなのか。その辺りをお聞かせいただけますでしょうか。

松野：たとえばロータリー暦10年以上の方は、ポリオはもう終結したんじゃないか、という感覚をお持ちの方が多いと思います。また逆に5年未満のロータリアンの方はポリオ自体をご存じない方も多し。まず、そうした現状があるわけですが、ざっとご説明しますと、ロータリーは1988年からポリオ・ウィルス撲滅のため

に、20億を超える世界中の子どもたちに予防接種を受けさせ、ポリオの症例数を99.8パーセント以上減少させることができました。しかし、2002年1月の時点で、まだ世界7カ国211件の発症例が残っているんです。もちろん、我々の奉仕活動に終わりはありませんが、ロータリアンとして誇りを持てる、一つの成果として最後までやり遂げるべきではないか、ということで2005年ロータリー100周年となるシカゴ大会を目標に置いたわけです。

司会：あと3年で撲滅しようということですか？

松野：いえ、ポリオ撲滅を宣言するためには、WHOが症例が見つからなくなったと発表した後、2年間の猶予期間が必要なんです。ですから期限としては2003年の9月、それがリミットなんです。皆さんにご負担いただく額が急増したのは、そういう理由からです。いよいよ大詰め段階にきたというわけです。

司会：では「ポリオ・プラス」というのは？

松野：ポリオに加え、はしか、ジフテリア、結核、百日咳、破傷風の5つをプラスした総称です。ただし、今回の撲滅キャンペーンではポリオだけが対象です。

司会：日本にポリオは存在しないんですか。

松野：はい。残っている地域は主にインドやパキスタン、ナイジェリアで、あとは内戦をやっている地域の211件です。たった2滴、口から生ワクチンを投与するだけで、子どもたちが亡くなったり、足がマヒしてしまうような障害も負わずに済みます。

石川：結局、ワクチンそのものは一人あたり10円、20円程度の安いものですが、付随する費用が大きいんです。それを「ポリオ・プラス・パートナー」というプログラムで物心両面で支援するわけですが、具体的に言えば、たとえばインドは暑いでしょう。そういう環境ではワクチンはダメになってしまうので、冷凍庫付ランドクルーザーのような特殊な自動車やそれに付随する人的費用が多くかかります。しかも奥地では武装集団に襲撃されたり、宗教指導者に拒絶されたり、複雑な問題も絡んでくるようです。

松野：その宗教がらみが難しいですね。子どもたちを一ヶ所に集めて一斉投与するには、まず指導者を説得しないと。

石川：それだってお金がいります。中にはあのワクチンは悪魔の薬だから飲むな、そんな指導者もいるそう

です。それと戦争状態にある地域で撲滅するのは難しいでしょうね。

司会：ではポリオ・プラス委員会の活動としては、そうした活動資金の調達ということになるんでしょうか。

松野：結果的にはそうなりますが、まずはロータリアンの理解を深める活動を行なうことが先決です。たとえば、1つのクラブで100万円寄付をしていただくより、ロータリアン一人ひとりにご理解いただいた上で100人から1万円ずつご寄付いただく方が、遥かに有意義なことです。地区の事務所にビデオや関連資料、募金の方法等の資料まで揃っています。ポリオ撲滅にご理解いただけるよう、この場をお借りしてお願いしたいと思います。

司会：そうですね。6,000名のロータリアンがこれをお読みになり、何らかのアクションにつなげていただきたいですね。では、教育的プログラムとして、奨学金プログラムがありますが、これについてお願いします。

中北：ロータリー財団奨学金の目的としては、18歳以上の男女を他国の教育機関で勉強させ、異文化理解と国際交流の増進を図る、ということにあります。とくに学生だけに限られたものではなく、社会人にも門戸が開かれており、1学年の国際親善奨学金は上限25,000ドル、主に学位取得のためのマルチイヤー2年は24,000ドル、逆に受入となるジャパン奨学金寄贈は



29,000ドルが支給されます。

司会：かなりの金額ですね。奨学生はどういう手続きで募集されるんですか？

中北：募集要綱のポスターを学校に配付します。選考については、まず各クラブで審査し、その推薦をもとに地区ロータリー財団委員会の方で選考するんですが、これもなかなか難しい問題を抱えています。

司会：と、おっしゃいますと？

中北：やはりただの奨学生ではなく、「国際親善」というものが頭についてくるわけですが、そうした大前提、つまりロータリーがまったく理解されないまま、財団へ推薦される奨学生がいるんです。本来は各クラブで十分にご説明いただいた上で推薦されるべきなんですが、「ロータリーって何ですか？」という感じで来てしまう人もいます。やはり各クラブにバラつきがあるものですから、奨学生にも温度差が出てしまうんです。

司会：そのためのオリエンテーションなどの決まりは

ないんですか？

中北：各クラブで、ということになっています。ですから、今後はこうした奨学生に対するフォローも財団として考えていくべきでしょう。また、募集の仕方、選考も難しい問題です。しっかりオリエンテーションされてないため、派遣教育機関が奨学生の希望に沿わない場合、辞退者が出てしまうこともあります。

鈴木：第一希望の教育機関に希望校が決まっても、たとえばニューヨークですとか、奨学生が希望する都市に引き受けてくれるクラブがなければダメなんです。

司会：何事も最初にきちんと説明されて、理解されていればいいですね。

中北：とにかく、財団に関しては地区とクラブとの間で距離があり過ぎます。ポリオにしてもそうですが、同じスタンスでやりましょう、という姿勢でなければ、何も変わらないんじゃないでしょうか。また、顧問ロータリアンとして奨学生をお世話した方はお解りでしょうが、このプログラムを基本的に理解した上でご寄付いただくこともあまりないように思います。

鈴木：実態としては、ただ必要な書類はこうだよとか、語学の成績はこれぐらいなくちゃダメだよとか、そういう説明だけでクラブが受けちゃうんです。奨学生にしてみれば、「国際親善」の文字がついていようが関係ありません。そういう部分まできちんと理解させるクラブなら問題はないんですが。

中北：奨学生にしてみれば、行きたいばかりですからねえ。

司会：この地区では何人ぐらいお世話しておられますか？

中北：02-03年度の候補は16名ですが、辞退者もありますので10名ぐらいでしょうか。毎年、予算によって人数は変わります。

司会：中身はすごくいいことなだけけれど、問題は入口ということになりそうですね。

中北：そうです。今回はとくに応募者が少なかったもんですから、委員会の方でも、今後はもっと広く情報が行き渡るよう新聞広告への出稿を検討中です。

鈴木：それから、各クラブ内に奨学金制度への理解を深める機会もなければ、奨学生やロータリアンを教育する人物もいない、という点も問題でしょうね。ですから各クラブで奨学生を募集し、お互いに理解すると

ころから始めるのもひとつの方法だと思います。当地区で派遣経験のないクラブがまだ12もありますから。

中北：その奨学金制度への理解を深めるための機会としては、学友を活用していくことも大切です。

司会：そういう部分は地区の委員長さんの判断で、采配できることなんでしょうか。

鈴木：それはいいんじゃないですか。帰国した奨学生らで構成する学友会は、現在308名おりますが、彼らにはこれから派遣される奨学生のサポートだけでなく、クラブ内で体験談をぜひご披露いただいて、ロータリアン一人ひとりの理解を深めていって欲しいですね。

深谷：視点が違うかもしれませんが、まずは委員会ではなく各クラブであり、それをリードするのが地区だと思うんです。かつて私どもの時代は、新入会員には先輩カウンセラーが1年間ついてくれて、ロータリーの奉仕はこういうもんだ、とアドバイスしてくれていたんです。今は皆無となってしまいましたが、それが

できなければビデオなり、行動計画書のようなものを地区が作り、新入会員はもちろん全会員に見せて、理解を深めるべきじゃないかと思います。たとえばそうしたビデオを毎回、例会の前に流せば、大多数の会員は賛同してくれるんじゃないでしょうか。新人教育もない、ガイダンスもない。これを読んでおきなさいよ、とただ資料を手渡されるだけでは、真の理解など

あり得ないんじゃないかと思います。こうしたことが、自然に寄付をしたいという自発的な思いにも結びついていくんじゃないでしょうか。

司会：地区副幹事という立場で少し発言させていただきましたと、先ほど中北さんがおっしゃられたように、クラブによってもものすごく温度差がございます。具体的に申しますと、一人当たりの財団への寄付額が限りなくゼロに近いクラブもあります。私自身、思いも寄らないことでしたが、また逆にプログラムの中身は別として、とにかく寄付を集めておこう、というクラブもあるようです。ですから、本当に財団の意味をご理解された上で寄付を集めているクラブとの温度差がものすごく大きいと思いましたし、なぜそうした状況を放っておいたのか。それも不思議に感じましたね。

司会：それは単年度の弊害じゃないかな。

深谷：ですから継続していかないんですよ。やはりロータリー財団というのは継続していくことに意義があ



る活動ですから、単年度では終結しないんです。我々、G S Eもそうです。そういう部分も含めて、かつては先輩カウンセラーからレクチャーを受けてきたわけですし、変えられないルールがあった。私のクラブだけなのかもしれませんが、最近のクラブはどうも違う方向へ行っちゃっているように感じるんです。

司会：やはりポリオや奨学生事業ではこういうことをやっているんだよ、ということと言葉だけじゃなく、深谷さんがおっしゃられるように映像も含め、例会でこまめに情報発信していくことが大切でしょうね。奉仕の意味もわからず、仲良しクラブの食事会で終わってしまったのは、そのルールの必要性も考えなくちゃいけないのかなと思います。

石川：私自身は、基本的に委員としては単年度ではありますが、事業の継続性は維持されるべきと思うんです。しかし単年度がゆえに誤解があるようです。ロータリー財団の役員でも1年で変わる場合がありますが、そうしたことが事業を変更してもいい、という誤解を生じるのでしょうか。しかし、ロータリー財団に限って申し上げれば、「委員長は原則3年やってください。委員は複数年数で活動してください」と国際ロータリーからの通達があります。それはやはり事業の継続性を重視しているからであり、財団のプログラムがいかに継続されるべきものであるか。結局、ロータリーの事業から、財団のプログラムを外したら何が残るのか。そして寄付をするだけで終わってしまったら、自分自身に何が残るかを考えただけで、ご理解いただけると思うんです。

司会：ところで財団の主要プログラムとしては、G S Eもありますね。

深谷：そもそもG S EとはGroup Study Exchangeの頭文字を取ったもので、研究グループ交換のことです。対象は専門職務に携わる24～40歳の若い男女で、専門職務の技量と指導力を磨いて、地域社会のニーズや国際化の進む職場のニーズに対処できるようにする、というものです。当地区では1997年、犬飼ガバナー年度から「グループの国の交換なくして果たして国際理解が得られるか」ということで復活し、現在、5年目を迎えます。

司会：従来は1年の間に派遣と受入をされていたそうですが。

深谷：はい。今年から交互にやりましょう、ということで、今年度はオーストラリアに4名、4～6週間の派遣をさせていただきます。当初は単に交流するだけのものでしたが、やはり帰国された方の仕事ぶりを見ますと年々、着実に成果が上がってきていますね。

司会：選考はどうされているんですか？

深谷：派遣の募集要綱は全ロータリアンにチラシでお知らせしています。また、各分区のG S E委員が再度、情報公開する一方で、国際交流、海外への経済協力をなさっている文化、経済、教育の所管にご推薦いただくこともあります。ただ希望人数は7～8名と、こちらも案内不足は否めません。チームリーダーとしてロータリアンの付き添いも必要ですし、その間、仕事を休まなきゃいけないのも大変です。

司会：最後になってしまいましたが、恒久基金委員会についてはいかがでしょう。

本多：恒久基金委員会は、まだ昨年度途中に出来たばかりですし、特別な事業を行なうものでもありません。役割としては、ロータリー財団の財政を下支えする恒久基金、つまりベネファクターを皆さんにPRしてご理解を深めていただき、ご寄付いただくことが役割ではないかと理解しております。ただ、年次寄付そのものが減少している状況ですので、1,000ドル以上の寄付協力の要請となると難しい側面もありますが、微力ながら少しでも皆さんに寄付をお願いして参ろうかと考えております。

司会：まとめとして石川委員長、今後どう活動されるのか、あるいはロータリアンに対して何かメッセージなどございましたらお願いします。

石川：ポリオ・プラス、G S E、国際親善奨学金など、ロータリー財団ではバラエティに富んだ事業を展開しているわけですが、それだけに多くのメンバーのご理解とご支援がなければ何もできないんです。しかしご理解とご支援があればある程度の寄付集めと事業の継続は可能です。実は昨年度の寄付状況ですが、当地区としては例年にない低額で、最悪の状況でした。昨今の経済状況も否めませんが、ロータリーへの理解と魅力が失われつつあるのでは、という危惧を強く持つわけです。今展開されているロータリー財団プログラムはすべて社会にとって大変、意義深いものですが、これら事業プログラムの成功にはロータリアン自身に、同志として強い連帯意識と強い感動を与えるものでなければならぬと思います。今後は我々自身のPR活動も大切ですが、できる限り多くのクラブがまず、地区の方へ役員を派遣しロータリアン自身に広く活動していただくこと。そうしてご理解いただければ、事業も自然に成功するんじゃないかと思っています。

地区ロータリー財団セミナー 開催報告

地区ロータリー財団委員会 副委員長 鈴木孝則

2002~2003

RI 第2760地区ロータリー財団セミナー



来賓に、特別講演「ロータリー財団とポリオ撲滅募金キャンペーンについて」の講師としてRI D 2690の渡辺好政パストガバナーをお迎えし、岡部快圓ガバナー始め、太田賢太郎PEFC委員長、豊島徳三ガバナーエレクト、野村重彦財団カウンセラー、細野恭弘担当ガバナー補佐、太田達夫ガバナー補佐、伊藤康司ガバナー補佐、伊藤宏地区幹事、吉田隆彦担当地区副幹事、瀧義孝次期地区幹事、そして財団関連6委員会・委員長、副委員長、委員、合計31名の地区役員、委員、および79クラブの会長・財団委員長140名、総計171名の出席のもと、石川敬地区R財団委員長をリーダーとして開催された。

鈴木孝則地区R財団副委員長が司会進行を務め、プログラムに入った。今年度のセミナーは、(1)ガバナー方針の徹底、(2)財団委員長による「R財団のあり方」、(3)特別講演「ロータリー財団とポリオ撲滅募金キャンペーンについて」を3本の柱とし、関連5委員会各委員長の説明と要請が加えられた。

まず、岡部ガバナーが挨拶され、出席者に各クラブの奉仕活動に対するねぎらいと感謝を申し述べ、続いてR財団の沿革、使命、活動プログラム、寄付目標と寄付方法およびその実績等を説明された。次に、世界中に約束した「ロータリー100周年の2005年までにポリオ撲滅」のために、特別寄付として150ドルを3年に分割して、地区目標を達成できるよう、出席メンバーに強く要請された。

リーダーの石川委員長は、委員長が作成した「国際ロータリー第2760地区 2002-2003年度 ロータリー財団セミナー」をテキストとして使い、詳細にわ

日時 2002年9月12日(木)

12:30~16:30

場所 名鉄ニューグランドホテル7F

たる財団の説明をした。そして、ロータリーの活力は「ロマンと感動にある」と結び、共に追求していきたいと締めくくった。

次に、今回のメインプログラム・特別講演「ロータリー財団とポリオ撲滅募金キャンペーンについて」の講師・渡辺好政PDG（児島RC）の紹介を、野村財団カウンセラーがされ、講演を拝聴した。

ご講演は、渡辺講師ご自身が作られたスライドを使って行われ、ポリオ撲滅はもとより、われわれのロータリーライフについての示唆に富む内容に感銘を受けた。

このほか、太田地区PEFC委員長の挨拶があり、関連5委員会からは以下の説明があった。

1. 地区における国際親善奨学生の派遣と受入
中北財団奨学委員長
2. 財団学友の活用と組織強化
鈴木財団学友委員長
3. 地区GSE活動の展開と目的
矢形GSE副委員長
4. ポリオ撲滅募金活動特別キャンペーン
松野ポリオプラス委員長
5. 財団における恒久基金寄付
本多恒久基金委員長

質疑応答の後、豊島ガバナーエレクトが謝辞と閉会の辞を述べ、お開きとなった。



ガバナー公式訪問報告

名古屋錦ロータリークラブ

会長：三浦 俊彦 幹事：前田 元弘 会員数：40名

名古屋名北ロータリークラブ

会長：渡辺 泰彬 幹事：伊藤 晋一 会員数：107名

8月20日(火)／名古屋ガーデンパレス

岡部ガバナー、伊藤地区幹事をお迎えして名北RCとの合同例会を開催いたしました。事前の懇談会ではガバナーより、会員増強および退会防止そしてクラブ運営について貴重なお話をお聞かせいただき、さまざまご指導をいただくことができました。また、例会は終始和やかな中にも、緊張感のある有意義な例会でありました。特に、卓話では、本年度RI会長のお人柄、RIテーマそしてガバナーの奉仕の精神についての素晴らしいお話をお聞きすることができ、会員一同深く感銘を受けました。



豊田三好ロータリークラブ

会長：岡田 佳大 幹事：石黒 肇 会員数：27名

豊田西ロータリークラブ

会長：伊藤 厚男 幹事：那須 伸和 会員数：100名

8月26日(月)／ホテル豊田キャッスル

いいじゃん祭り（三好町）の興奮もさめやらぬ8月26日（月）の夕刻、岡部ガバナー・伊藤地区幹事をお迎えして豊田西RCとの合同例会が開催されました。

会長・幹事懇談会の席では岡部ガバナーから会員数の減少とそれに対するクラブとしての増強への意志について確認され、そして増強への手法や考え方をご指導いただきました。岡部ガバナーの温かいお心に感動しました。

合同例会での岡部ガバナーの卓話では、RIテーマであります「慈愛の種を播きましょう」についてお話をいただき、皆ロータリアンとしての心温まる感動を味わうことができ大いに意義ある合同例会になりました。



渥美ロータリークラブ

会長：彦坂 育甫 幹事：石本 健一 会員数：43名

田原ロータリークラブ

会長：渡邊 佳成 幹事：森田 雅人 会員数：71名

田原パシフィックロータリークラブ

会長：加藤 武紀 幹事：藤城 卓郎 会員数：71名

8月21日(水)／華山会館

8月21日、第2760地区で最南端の渥美郡田原町（渡辺華山先生の出身地）華山会館に、岡部ガバナー、伊藤地区幹事をお迎えして、親クラブである田原RC、兄弟クラブの田原PRCと共に合同夜間例会を開催しました。事前の懇談会では、会長、幹事、エレクト、副幹事に熱心にご指導をいただき、ガバナーに親近感を覚えました。引き続いての合同例会では、ガバナーより3クラブ会員に非常にわかりやすい言葉でRIテーマと地区方針を明解にスピーチされ、われわれ会員も合同例会を機会に、新たなロータリー活動の出発点として、ますます、地区内の会員と友情を深め、身近なロータリー活動をしていくことを決意しました。

皆様のおかげでスムーズな運営ができ、感謝いたしております。

西春日井ロータリークラブ

会長：森田 堅一 幹事：櫻井 利夫 会員数：41名

稲沢ロータリークラブ

会長：服部 孝至 幹事：児島 秀光 会員数：65名

尾張中央ロータリークラブ

会長：大島 俊三 幹事：住川 誠一 会員数：51名

8月27日(火)／名古屋マリオットアソシアホテル

8月27日に岡部ガバナー伊藤地区幹事をおむかえし、稲沢RCと尾張中央RCと3クラブ合同例会という形にて進めてまいりました。

お話の中でRC全世界において会員の減少が深刻な悩みになっていると聞き、当西春日井ロータリークラブにおいても、より深刻な問題となっています。その様な話を中心に和気あいあいに進めていきました。また、ガバナーから、ポリオの撲滅についての話とロータリアンの本来あるべき姿勢について話されました。

当日はどうも有難うございました。



名古屋西南ロータリークラブ

会長：矢野 雄三 幹事：藤田 守彦 会員数：57名

名古屋みなとロータリークラブ

会長：内藤 昌裕 幹事：鈴木 克彦 会員数：100名

8月29日(木)／名古屋クレストンホテル

秋のような青空でしたが残暑厳しい折、岡部ガバナー、伊藤地区幹事をお迎えして、名古屋西南RC・名古屋みなとRCの「ガバナー公式訪問」合同例会が開催されました。合同例会前には、クラブ毎にガバナーよりさまざまなアドバイスをいただきました。その中で「ポリオ」「識字率」「RCの万博への関わり」などを強調されました。例会ではRI会長のお人柄をエピソードを交えて紹介され、そのお話には感銘を受けました。

ガバナー公式訪問を終え、改めて今後のクラブ運営への思いを強くした次第です。



あまロータリークラブ

会長：北野 庸夫 幹事：山田 幹夫 会員数：93名

津島ロータリークラブ

会長：矢田 潔 幹事：佐藤 敬治 会員数：80名

9月2日(月)／名鉄グランドホテル

岡部ガバナー、伊藤地区幹事をお迎えして、あま・津島RC合同例会を開催いたしました。会長幹事懇談会では、退会防止策として、コミュニケーションを大切に、新入会員にはサポート役をつける、ポリオ撲滅のためのさらなる協力、国際博のロータリー館、地区大会への参加依頼等のお話がありました。

あまクラブには、女性会員の入会についてのお話もいただきました。



豊橋北ロータリークラブ

会長：山本 浩司 幹事：川口 雄三 会員数：105名

豊橋南ロータリークラブ

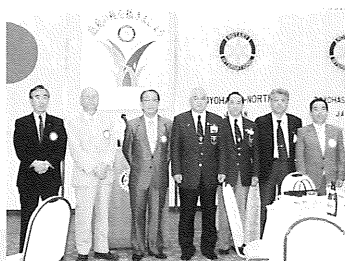
会長：磯村 博宣 幹事：縣 保彦 会員数：69名

9月3日(火)／豊橋グランドホテル

例会前の会長・幹事との懇談会の席上、ガバナーから、“本年度何かやりたいと思っていることはありませんか？”との質問がありました。

“クラブ創立以来の植樹事業は飽和状態であり、530運動発祥のクラブではありますが、その運動は成長し、今や全国的な規模へと発展しわれわれが云々するものではなくなりました。あと4年でわがクラブも50周年を迎えますが、その時を期して、新しい大きな目標を模索しているというのが本音です。現在理事会には、国際奉仕委員長より提起された事案として、わが国の誤った英語教育、受験のための英語で、大学を卒業しても英会話ができないような教育は、このままにしてはいけません。全面的に変えることなどわれわれにはできないわけではないが、やる気のある人々に対し、われわれの周辺だけでも、何かヘルプしたりサポートするくらいはできないか？”

ガバナーより“地区国際奉仕委員長会議には適合する窓口がある”と教えられました。



豊田ロータリークラブ

会長：斎藤 直美 幹事：杉浦 弘高 会員数：89名

豊田東ロータリークラブ

会長：豊田 稔 幹事：築山 秀夫 会員数：85名

豊田中ロータリークラブ

会長：猪狩 蔵 幹事：小野 朝康 会員数：56名

9月5日(木)／ホテル豊田キャッスル

予定時刻(9:15am)より30分も早く到着したお二人を中心に、和気合々の雑談から始まった公式訪問は、①企画情報室の役割とは？②卓話はメンバーが必ずスピーチすることになっているが実行されているか？又その評価は？③社会奉仕、国際奉仕のプログラムは④メンバーが減少しているクラブが多いのに、当クラブはむしろ増加傾向にあるのは理由があるのか等々ガバナーから御質問がだされた。このことは、訪問前に当クラブ基本資料に細かく目を通されてきた証拠で恐縮してしまった。畏敬の念を覚える。ガバナーはかくあるべしと感心する次第でした。「今さら…でも語ろう人生とロータリー」ー強いクラブをめざしてーのテーマに基づくプログラムを着実に残された期間実行するつもりです。



ガバナー公式訪問報告

安城ロータリークラブ

会長：鈴木 凱男 幹事：加藤登志雄 会員数：71名

三河安城ロータリークラブ

会長：都築 征成 幹事：岡崎重太郎 会員数：49名

9月6日(金)／碧海信用金庫本店

岡部ガバナー、伊藤地区幹事をお迎えして安城・三河安城ロータリークラブの合同例会が開催されました。

会長・幹事懇談会では、当クラブの運営についての意見交換が行われ、問題となっている事柄や取り組むべき課題についてガバナーより広い視野に立った適切なアドバイスがいただくことができました。また、続いて行われた合同例会ではR I テーマ、現在取り組んでいる各種事業の状況などの説明・報告があり、ロータリークラブの現状を理解する上で大変有意義な時間を持つことができました。



東海ロータリークラブ

会長：加藤 徳治 幹事：増岡 達一 会員数：55名

東知多ロータリークラブ

会長：村瀬 和男 幹事：今津 昭 会員数：63名

9月11日(水)／新日鉄公園クラブ

岡部ガバナー、伊藤地区幹事の公式訪問を受け、東知多RCとの合同の百万\$例会を開催しました。

それに先だつての会長、幹事懇談会では、岡部ガバナーの慈愛に満ちた温かいご指導のもと、今後のクラブ運営に自信を持って取り組める、良きアドバイスをいただきました。

また、例会においての卓話では、R I 会長がロータリー活動が好きになったきっかけのお話、大変感動いたしました。

また、トップダウンではなく、ボトムアップ（下意上達）のご指導、今後のクラブ運営に大いに活用していく所存です。



名古屋ロータリークラブ

会長：加藤 千麿 幹事：高橋 正幸 会員数：208名

9月10日(火)／名古屋観光ホテル

地区内79クラブの中、本日の訪問が40番目という、お忙しい岡部ガバナーと伊藤地区幹事をお迎えしました。事前の懇談会では、会員増強、ロータリー財団、国際博等についてご指導をいただきました。

例会では、「人生を通して奉仕の精神を尊び、他者の側に立って自分を考える、慈愛の心をみだしたロータリアンになりましょう」という心温まる卓話でした。世界の悲惨な子供たちのことを考え、ポリオの撲滅をめざし、当クラブにも一層の協力をお願いされました。ガバナーのロータリーに対する情熱と温かいお人柄に、

会員一同感銘を覚えた次第です。

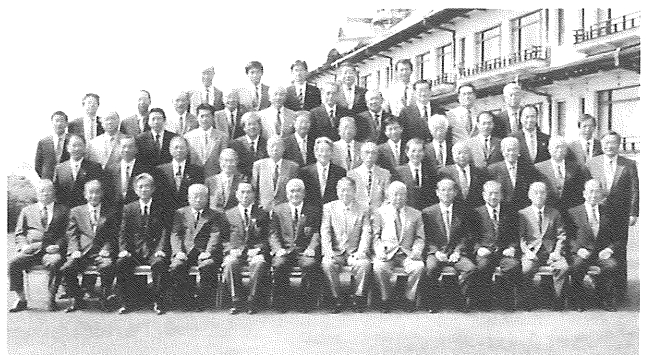


蒲郡ロータリークラブ

会長：畑川 喜雄 幹事：野寄 正一 会員数：69名

9月13日(金)／蒲郡プリンスホテル

岡部快園ガバナー、伊藤宏地区幹事の公式訪問を受けました。例会前の懇談会では当クラブの会長、会長エレクト、幹事、副幹事の4名が参加して、和やかな雰囲気の中で当クラブの方針を説明し、種々の指導をいただきました。ガバナーからはR I テーマと地区方針の説明をいただき、「それぞれの目標を高くし、それをクリアするよう努力してほしい」とのことでした。卓話ではガバナーエレクト研修会の感動したお話を中心にいただきました。終了後、記念撮影してお別れしました。



第2回 地区諮問委員会

出席者 奥谷PDG 福田PDG 田中PDG
盛田PDG 加納PDG 神戸PDG
宮地PDG 石川PDG 松本PDG
野村PDG 福田PDG 太田PDG
岡部DG 豊島DGE

オブザーバー

藤井直前地区幹事 杉浦前地区会計長
伊藤地区幹事 瀧次期地区幹事
堀江地区副幹事 横井地区副幹事

欠席者 森 PDG 内藤PDG 蜂谷PDG

岡部ガバナー挨拶

ガバナー公式訪問も19回済みまして丁度折り返し点を過ぎましたことをご報告致します。本日は沢山の協議事項や報告事項がございますので宜しくお願い致します。

日時 2002年9月7日(土) AM.11:00～

場所 名鉄グランドホテル 18F

協議事項

1. 2001～2002年度 地区会計決算(案)承認の件
2. 2004～2005年度
国際ロータリー第2760地区
ガバナー候補推薦の件
3. 2003～2004年度(豊島年度)
ガバナー補佐候補者推薦の件
4. 2002～2003年度 地区大会決議案採択の件
5. 2002～2003年度 ライラセミナー
ホストクラブ委嘱の件
6. その他

報告事項

1. 国際博について
2. 2002～2003年度 地区大会
RI会長代理について
第2760地区RIメンバーシップ
コーディネーター(RIMC)
3. 「超我の奉仕賞」推薦要請についての結果報告
4. 2005国際博委員会 増員の件について
5. 第2760地区会員数と女性会員数について
6. ガバナーエレクト事務所開設の件
7. その他

職業奉仕委員長会議

地区職業奉仕委員会 委員長 関口宗男

8月22日職業奉仕委員長会議が開催されました。先ず岡部ガバナーがラタクル会長は、ロータリーの仕事をするのはRI会長やガバナーではなく各クラブメンバーがするものであると言われているように、各クラブのボトムアップの活動をお願いしたい。そのために



は、地区の各委員会とクラブの委員会が密接になり、クラブの活動のために地区委員会を大いに活用していただきたい。また、ラタクル会長は『慈愛の種を播きましょう』をRIテーマとして“慈愛の種”を播く2番目に職場を挙げておられるが、職場では顧客、商売相手、従業員などに“慈愛の心”をもって接してほしい。会議の成果を持ち帰って、各クラブのボトムアップにつなげてほしい。などと述べられた。次いで、佐藤千寿2580地区PDGが「渾沌—活力再生の道」と題して講演をされた。その後、右演題に基づき分区毎のフォーラムを実施し活発に討論が行われました。続いて、分区の各代表者の質疑応答が行われました。

なお、職業奉仕委員長会議については後日報告書を発行する予定です。

クラブ奉仕委員長会議

地区クラブ奉仕委員会 委員長 片山 主水

平成14年8月31日土曜日、残暑の厳しい中、リニューアルオープンを翌日にひかえた名鉄グランドホテルにおいて、岡部快圓ガバナー、稲山達弘ガバナー補佐、伊藤宏地区幹事、岩崎征一地区副幹事の出席と、地区内の71クラブの奉仕委員長の参集を得てクラブ奉仕委員長会議が開催された。

長引く現今の経済状況が地区内の各クラブの会員減少の大きな原因なのであるが、何ごととも時が経てば魅



力の薄れるもの、100周年を2年後にした「魅力薄れるロータリー」もその原因の一半を占めているとの認識をもとに、「魅力あふれるクラブ作り」に焦点を定め、ガバナーから「慈愛の種を播きましょう」という今年度のRIテーマは同じ東洋人として共感できるものでこの中にロータリーの心、ロータリーの本質にふれる思想がある。ガバナー補佐から「良いクラブとは良い食事、良いスピーチ、良い雰囲気」との示唆に富んだ各挨拶があり、加藤俊夫地区副委員長の総合司会により、誰にアピールするための魅力か。何をもってクラブの魅力というか。それはロータリーというものをどのように考えるかにより大きく違うのではないかなどについて、また各クラブが当面逢着している問題点、その解決策などについて忌憚のない意見を交換した。

なかに、厳格な出席規定、1業種1員制の緩和が魅力減退の張本人ではないかとのドキッとする指摘や、急激な会員増強を懸念する声もあった。

各委員長がこの会議で出た意見を各クラブに持ち寄り参考としながら、各クラブにおいて活発な意見交換の場を設けさらに深く掘り下げ、会員全員で「魅力あふれるクラブ」に一步でも近づく努力をすることとなった。

広報委員長・雑誌委員長会議報告

地区広報委員会 委員長 塚本胤男

日時：平成14年9月9日

午後2時30分～4時30分

場所：名鉄グランドホテル 11階

ご存知のようにRCの綱領（OBJECT OF ROTARY）には、有益な事業として奉仕の理想を唱えこれを鼓舞育成していくこととあります。当日はパストガバナー内藤明人、岡部ガバナー、伊藤地区幹事、稲山ガバナー補佐、浅野地区インターネット委員長、杉本ロータリーの友地区委員、種村桂介国際博委員会委員（前広報委員会委員長）出席のもと75ロータリークラブの広報委員長、雑誌委員長127名が参加し、広報活動の必要性和「ロータリーの友」のいっそうの普及等について話し合いがなされて、後、2001～2002年度「地区RI広報賞」を受賞された、名古屋中RC藤田雄三前幹事より、2001年8月29日『サマーチャリティー Welfane Concert 松尾葉子と共に』を

開催され社会奉仕のあり方を考えようと三笠宮寛仁親王殿下をお招きし「我が国の福祉」と題して講演を賜り、全国のRCのインターネット放映と地元メディアにも広く協力を求めて実施された広報活動を詳しく紹介いただきました。

また、休憩時間にEXPO2005日本国際博覧会（愛・地球博）イメージソング愛知万博パートナーシップ事業、万博PRの記念事業「音楽万博」テーマソング、ブラボー！ムッシュ・ルモンド（地球讃歌）日仏シャンソン協会日本支局長加藤修滋様よりお話をうかがい、その後3人の女性歌手により楽しいひとときを過ごしました。地区研修リーダー内藤明人様には国際

広報委員長・雑誌委員長



ロータリー会長の基本的な方針、さらに「当地区ガバナー方針と同時に各クラブ会長の主旨を根において、それぞれの活動を報告していただくとありがたいと思います。例えば今年のRI会長のラタクルさんは『慈愛の種を播きましょう』等であります」とエピソードを交えて結ばれました。

第一回 新世代委員長会議 報告

地区新世代委員会 委員長 保浦文夫

日 時 2002年9月4日 PM3:00~8:00

場 所 名古屋マリオットアソシアホテル

参加者 ロータリー会員124名

ローターアクトクラブ役員2名

ロータリー友の会役員2名 総員127名



会議の資料は各クラブの今年度「新世代に関わる事業計画」「各RACの事業計画」「ライラ友の会規約他(今年度から)」地区役員のコメント他を掲載した「地区新世代活動参考資料—2」配布。尚、「地区新世代活動参考資料—1」は地区協議会分科会で配布。

ロータリーの新世代活動を広く理解を求める目的で、ローターアクト・クラブ会員、ロータリー友の会会員の参加要請した。点鐘、来賓の紹介、「新世代に思いやりの心を」と岡部ガバナーの挨拶で開会。

■地区委員長報告

・岩瀬IA委員長、IAC協議会、海外研修会の報告と今後は報告書作成と次年度の事業計画等の活動。

・加藤RA委員長、RAC

活動は素晴らしい。RAC事業に参加、ロータリアンのRACの理解をお願い。

・松井RYLA委員長、「ライラ友の会」の設立の主旨、会員の確定、募集に各クラブの理解と協力をお願い。

・保浦新世代委員長、当地区の各クラブの事業は量、質共に価値がある、の現に“多くの種が蒔かれている”ただ“慈愛の種か”を意識し、ニーズの把握が大切。

■本会議—1、「日本人の“道徳・倫理”の再生」をテーマに武道教育研究家 風間健氏の講演。

“もの”中心の戦後社会、教育は大切であるが“知識”や“教養”だけでは“道徳”“倫理”は学べない「慈愛の心」が全てである。ロータリーが結束し活動したら日本の青少年（幼児も含め）教育の大きな原動力となる。

・本会議—2、は岡部ガバナーと風間氏の対談を変更。

ロータリアン岡部快園君として講演をお願い。

「私達は目(肉眼)で人々を評価するが、形としての評価に過ぎない。“心の目(心眼)”での評価が大切。人の関係は目で見えないもの、心の目(心眼)でしか見えない。若い人達との付き合いの大切さは“心眼”にあることを判って欲しい」。

・本多克弘ガバナー補佐、本会議講評。

■分科会・新世代・IA・RA・RYLAの4分科会が地区委員と各クラブ参加者により開催。

■懇親会、4分科会の報告。岡部ガバナーの総括講評に続いて、ガバナーを壇上に伊藤地区幹事のユニークな二人で腕を巻く乾杯は参加者から多くの絶賛の声が聞かれた。宴半ば、ローターアクト会員、ライラ友の会会員を改めて紹介、スピーチ。堀江地区副幹事の中締めで、第一回地区新世代委員長会議を終えた。



2003～2004年度 国際ロータリー第2760地区 地区幹事・会計長・監事・副幹事・スタッフ決定

ガバナーエレクト



豊島 徳三

1932年10月5日生
豊島株式会社 取締役副会長

マルチプルボールハリスフェロー
米山功労者2回目

一宮北RCチャーターメンバー
1965～66：S.A.A.
1966～67：国際奉仕委員長
1969～70：青少年奉仕委員長
1970～71：国際奉仕委員長
1972～73：広報委員長
1974～75：幹事
1976～77：ロータリー財団委員長
1978～79：会長
1979～80：ロータリー情報委員長
2001～02：ガバナーノミニ

地区幹事



瀧 義孝

1937年4月29日生
瀧歯科医院 院長

ボールハリスフェロー
米山ファンドフェロー

1979. 1 一宮北RC入会
1984～85：職業奉仕委員長
1987～88：S.A.A.
1989～90：会報委員長
1998～99：会長
1999～2000：ロータリー情報委員長

地区会計長



森 裕晃

1924年9月18日生
モリリン株式会社
名誉顧問

ボールハリスフェロー
米山ファンドフェロー

一宮北RCチャーターメンバー
1966～67：職業奉仕委員長
1972～73：国際奉仕委員長
1975～76：会長
1979～80：職業分類委員長
1996～97：米山記念奨学会副委員長
2000～01：S.A.A.・出席委員長

地区監事



荒井 昭一

1926年12月27日生
北東通信建設株式会社 会長
ボールハリスフェロー
ベネファクター
米山ファンドフェロー

1974. 8 一宮北RC入会
1979～80：会報委員長
1983～84：広報委員長
1987～88：米山記念奨学会委員長
1988～89：ロータリー財団委員長
1989～90：職業奉仕委員長
1992～93：会長
1996～97：クラブ奉仕・プログラム委員長
1999～2000：米山記念奨学会委員長

地区副幹事



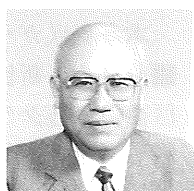
荻本 鉄夫

1925年12月1日生
丸本繊維株式会社
取締役社長

ボールハリスフェロー
米山ファンドフェロー

1970. 9 一宮北RC入会
1973～74：S.A.A.
1974～75：職業奉仕委員長
1975～76：ロータリー財団委員長
1977～78：幹事
1982～83：会長
1992～93：プログラム委員長
1993～94：西尾張分区分代理
1995～98：地区IA(小)委員会副委員長
1998～2001：地区IA委員会委員長

地区副幹事

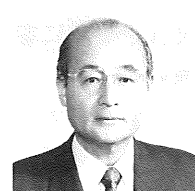


森田 進

1938年9月9日生
東海倉庫株式会社
取締役社長

1976. 10 一宮北RC入会
1980～81：S.A.A.
1982～83：幹事
1992～93：ロータリー財団委員長
1994～95：広報委員長
2000～01：職業分類・会員選考委員長

地区副幹事

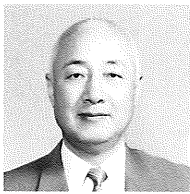


長谷川 昇一

1936年7月9日生
株式会社長谷川工務店 代表取締役
ボールハリスフェロー
ベネファクター
米山ファンドフェロー

1977. 11 一宮北RC入会
1982～83：親睦活動委員長
1986～87：幹事
1992～93：国際奉仕委員長
1993～94：分区分代理幹事
1995～96：会長
1997～98：ロータリー財団委員長
1998～99：クラブ奉仕・プログラム委員長
2000～01：雑誌委員長

地区副幹事



林 岡成

1936年4月11日生
おじま幼稚園 園長

米山ファンドフェロー

1978. 2 一宮北RC入会
1980～81: ローターアクト委員長
1981～82: 会報委員長
1982～83: 青少年奉仕委員長
1985～86: インターアクト委員長
1990～91: 米山記念奨学会委員長
1992～93: 社会奉仕委員長
1998～99: 青少年奉仕委員長
2000～01: 社会奉仕委員長
2002～03: 会長

地区副幹事



黒木 義公

1944年12月13日生
弥助 社長

ポールハリスフェロー

1986. 6 一宮北RC入会
1990～91: 青少年奉仕委員長
1993～94: S.A.A.
1995～96: 職業奉仕委員長
1998～99: 幹事
2001～02: 親睦活動委員長
2002～03: ニコボックス委員長

地区スタッフ



早川 英司

1938年4月8日生
株式会社早川糸店
代表取締役

1981. 10 一宮北RC入会
1986～87: 青少年奉仕委員長
1990～91: 親睦活動委員長
1991～92: 社会奉仕副委員長
1992～93: 会報委員長
1994～95: 幹事
1998～99: 会員増強委員長
2001～02: 会場委員長

地区スタッフ



矢野 尚彦

1954年6月21日生
株式会社中工
代表取締役社長

1994. 6 一宮北RC入会
1996～97: 会場副委員長
1999～2000: 会報委員長
2000～01: 会場委員長
2001～02: 副幹事
2002～03: 幹事

地区副幹事

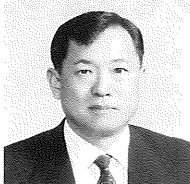


木全 輝雄

1933年8月26日生
伸葉株式会社
代表取締役
ポールハリスフェロー

1979. 5 一宮北RC入会
1982～83: 社会奉仕委員長
1983～84: 出席委員長
1986～87: ローターアクト委員長
1987～88: ニコボックス委員長
1990～91: 幹事
1999～2000: 会長
2002～03: 社会奉仕副委員長

地区副幹事



山内 國雄

1945年6月10日生
日本情報株式会社
代表取締役会長
ポールハリスフェロー

1991. 1 一宮北RC入会
1995～96: 親睦活動委員会
1997～98: ローターアクト委員長
1998～99: インターアクト委員長
1999～2000: 国際奉仕委員長
2001～02: インターネット委員長
2002～03: ガバナー補佐幹事

地区スタッフ



岩田 全功

1946年3月4日生
岩田公認会計士事務所
所長
ポールハリスフェロー

1985. 1 一宮北RC入会
1987～88: ローターアクト委員長
1988～89: インターアクト委員長
1990～91: 会報委員長
1992～93: 親睦活動委員長
1995～96: 幹事
1997～98: 会員増強委員長
2000～01: 会計
2001～02: 会員増強委員長
2002～03: 新世代委員長

地区スタッフ



森 通保

1949年12月3日生
株式会社森吉倉庫
専務取締役

2000. 7 一宮北RC入会
2000～01: 会場委員
2001～02: 会報委員
2002～03: 会場副委員長

地区副幹事



大森 克孝

1942年5月11日生
大森石油株式会社
取締役副社長
ポールハリスフェロー

1979. 12 一宮北RC入会
1985～86: 青少年奉仕委員長
1988～89: 幹事
1993～94: 国際奉仕委員長
1995～96: 社会奉仕委員長
1997～98: 会長
2001～02: 職業分類・会員選考委員長
2002～03: ガバナー補佐

地区スタッフ



廣瀬 國忠

1937年8月17日生
株式会社マスター
専務取締役
ポールハリスフェロー

1979. 7 一宮北RC入会
1985～86: S.A.A.
1987～88: 幹事
1992～93: 青少年奉仕委員長
1996～97: 会長
1998～99: 会計
1999～2000: クラブ奉仕・プログラム委員長
2002～03: ローター財団委員長
米山記念奨学会委員長

地区スタッフ



加藤 勉

1947年3月14日生
株式会社美ノ久
代表取締役社長
ポールハリスフェロー

1991. 3 一宮北RC入会
1994～95: 親睦活動委員長
1997～98: 幹事
2000～01: 親睦活動委員長
2001～02: ローターアクト委員長
2002～03: 親睦活動委員長

事務局



宮谷 文恵

齋藤 奈穂子





2002-2003年度国際ロータリー 第2760地区・地区大会

2002-2003年度 国際ロータリー 第2760地区大会のご案内

多数のご登録ありがとうございました。
半田南RCクラブ員全体制で心温まる大会にするために
準備をかせねております。
…お待ち申し上げます—。

テーマ

「慈愛の種を播きましょう」

大会日程

第1日目

11月16日

会場／ウェスティンナゴヤキャッスル

- 10:00 受付開始
- 11:00 地区諮問委員会
- 12:30 R.I.会長代理を囲む昼食会
- 13:00 本会議登録受付
- 13:50 RI会長代理ご夫婦入場
- 14:00 開会・点鐘
- 14:35 R.I.会長代理挨拶
- 15:05 各委員会報告
- 15:25 休憩
- 15:45 ロータリーミーティング
パネルディスカッション
「新世代がロータリーに期待するもの」
出席予定者／米山奨学生、財団奨学生
ローターアクト、インターアクトetc.
- 17:15 閉会・点鐘
- 17:30 晩餐会受付開始
- 18:00 R.I.会長代理ご夫妻歓迎晩餐会
- 18:35 乾杯
- 20:00 終了



第2日目

11月17日

会場／ウェスティンナゴヤキャッスル

- 9:00 本会議登録受付
- 9:40 本会議2日目オープニング
- 9:55 R.I.会長代理ご夫婦入場
- 10:00 開会・点鐘
- 10:01 国歌「君が代」斉唱
- 10:10 開会のことば
- 10:15 来賓・特別出席者の紹介
- 10:30 R.I.会長メッセージならびに現状報告
- 11:00 目録贈呈・来賓祝辞（半田市長他）
- 11:10 感謝状贈呈、表彰
- 11:30 祝電披露
- 11:40 昼食
- 13:00 本会議2日目午後の部開会
- 13:20 記念講演「どうなる日本の政治と経済」
政治評論家／森田 美氏
- 15:10 目録贈呈（愛知県知事）
- 15:15 来賓祝辞
- 15:25 講評
- 15:40 閉会・点鐘

ファミリー
プログラム
11:00～15:10

文化の秋を満喫していただきたく「日々是好日」と銘打って名画の鑑賞と茶どころ名古屋にふさわしい堂礼に彩られた空間にて旬の味覚をお楽しみください。

●場所／懐石 志ら玉
名古屋市北区上飯田西町2-36
TEL.052-981-6868
メナード美術館
小牧市小牧5-250
TEL.0568-75-5787

第3日目

11月18日

会場／南愛知カントリークラブ

- 7:00 登録受付
- 7:30 スタート
- 15:00 表彰式



- 参加料／16,000円（メンバー）
27,000円（ビジター）
- 競技規則／ダブルベリア方式

アクセス

- 車／愛知・大高IC(名古屋高速)→美沢IC(知多半島道路)
→ゴルフコース。50km、45分。
- 電車／名鉄内海線野間駅下車、徒歩10分。
名鉄河和線河和駅下車、タクシー10分。

ホストクラブ

南吉のふるさと
半田南ロータリークラブ

〒475-0874

半田市銀座本町1-1-1 半田商工会議所内

TEL 0569-32-1955 FAX 0569-32-1956

特別寄付報告

■7月分

ク ラ ブ 名	クラブ収入金額	個人収入金額	法人収入金額	合 計	件 数
名 古 屋		380,000	250,000	630,000	11
名 古 屋 西		180,000		180,000	2
名 古 屋 南		250,000		250,000	25
名 古 屋 瑞 穂		360,000		360,000	12
名 古 屋 栄		270,000		270,000	9
名 古 屋 名 東		300,000		300,000	1
豊 橋 北		20,000		20,000	1
岡 崎		90,000		90,000	9
岡 崎 南		20,000		20,000	2
知 立		30,000		30,000	1
合 計	0	1,900,000	250,000	2,150,000	73

■8月分

ク ラ ブ 名	クラブ収入金額	個人収入金額	法人収入金額	合 計	件 数
半 田		1,710,000	150,000	1,860,000	62
あ ま		380,000	100,000	480,000	10
名 古 屋		50,000	50,000	100,000	2
名 古 屋 西		180,000		180,000	2
名 古 屋 中		690,000		690,000	23
名 古 屋 名 東		300,000		300,000	1
岡 崎		10,000		10,000	1
岡 崎 東	11,048			11,048	1
岡 崎 城 南		130,000		130,000	2
碧 南		750,000		750,000	5
一 色	300,000	300,000		600,000	2
三 河 安 城		1,080,000		1,080,000	36
合 計	311,048	5,580,000	300,000	6,191,048	147

ポール・ハリス・フェロー

■7月分

磯貝 一巳（知立）

■8月分

杉山 勝宏（安城）	加藤 知彦（碧南）	福沢 孝夫（名古屋）	岡野 剛久（名古屋中）
森脇 文直（瀬戸）	奥田 雪雄（碧南）	近藤 雄泉（名古屋中）	内藤 剛（半田）
加藤 陽一（瀬戸）	岡田 一（名古屋）	深田 正雄（名古屋中）	新居 均（尾張中央）
平岩 辰之（碧南）	桑島 久男（名古屋）	菅原 正倫（名古屋中）	高田芳次郎（尾張中央）

お知らせ

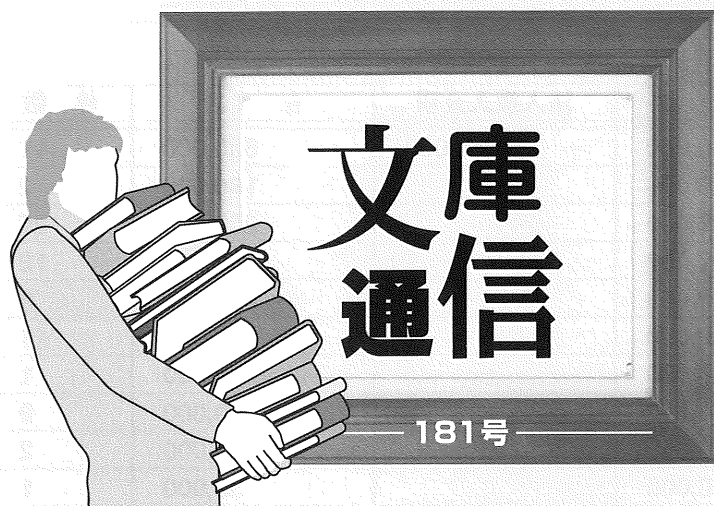
名古屋西ロータリークラブの
会長変更

小林 伸 ⇒ 鈴木 和雄

地区内79番目・愛知長久手ロータリークラブ誕生

設 立	2002年 6 月 28 日	事 務 局	瀬戸市見付町38-2 瀬戸商工会議所
特 別 代 表	亀井 勝		TEL0561-84-1160 FAX0561-84-0116
会 員 数	20名		E-mail: a.nagakuterc@aurora.ocn.ne.jp
会 長	丹羽 司一	例 会 日	毎週火曜日
幹 事	富田 盛義	例 会 場	名古屋イーストサニーガーデン出雲殿 TEL0561-52-8808

※チャーターナイト 2003年2月1日(土) 於：名古屋ガーデンパレス



「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして、1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧はもちろん、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介をいたします。

先輩ロータリアンの主張から

◎『ロータリーの良さ』

山本爲五郎

ロータリーの友：1954・5月 1 p

◎『ロータリーは何故必要か』

絹川清

ロータリーの友：1954・12月 1 p

◎『ロータリアンになって』

どんな得（とく）があるか？（1）（2）（3）』

茂地庵

ロータリーの友：1953・10・11・12月 5 p

◎『会員はクラブの事業に対して』

どの程度の責任を負うか〈シンポジウム〉』

ロータリーの友：1962・6月 2 p

◎『ロータリー精神の探求』

長瀬富郎

ロータリーの友：1956・4月 2 p

◎『ロータリーの質と量について』

いまやロータリーの原石を磨くとき』

直木太一郎

ロータリーの友：1960・8月 2 p

◎『ロータリーの質と量について』

質と量はロータリーの車の両輪』

柏原孫左衛門

ロータリーの友：1960・8月 2 p

◎『‘心の温かさ’こそロータリーの推進力』

松本兼二郎

ロータリーの友：1973・6月 4 p

◎『指導者道—愛はおしみなく—』

佐々木統一郎

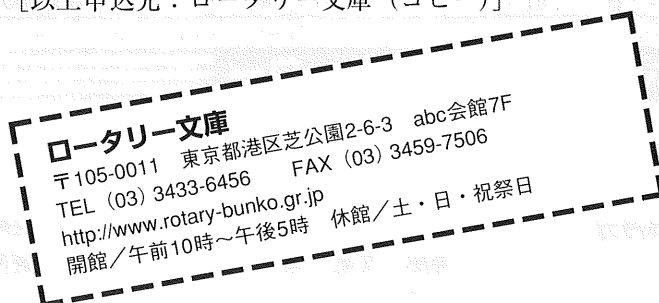
1973 3 p

◎『口あいてはらわたみせあう拓榴かな』

今田恵（ききて 富永賢吉）

ロータリーの友：1968・3月 4 p

[以上申込先：ロータリー文庫（コピー）]



新しい仲間

竹内 達彦（常滑）

小笠原輝彦（常滑）

宇野 精英（常滑）

松井 博之（常滑）

酒井 喜邦（東海）

東海 広光（あま）

土屋 範郎（名古屋空港）

栗田 和典（名古屋空港）

小出 富城（名古屋南）

杉山 博（名古屋中）

海老沢 洋（名古屋名南）

木下 昭一（名古屋北）

井野 美彦（名古屋北）

田中 正次（名古屋和合）

西田 克彦（名古屋和合）

野崎 敏夫（名古屋和合）

小出 毅（名古屋千種）

大山 輝美（豊田）

加藤 鈴夫（豊田）

伴 征雄（豊田）

堀田 肇（豊田）

浅岡 祐司（岡崎東）

青木セイ子（岡崎東）

奥谷 博（岡崎城南）

大嶽 賢司（知立）

訃報 謹んでお悔やみ申し上げます

天野 泰郎様（名古屋） 河合 一男様（田原）

会員数及び出席報告 (平成14年9月分)

分 区	クラブ名	会 員 数		入 会		退 会		例 会 数	9月 出席率	女 性
		2002年 7月1日	2002年 9月末日	9月	累計	9月	累計			
南 尾 張 分 区	半 田	70	70	0	0	0	0	4	100.00	4
	常 滑	59	63	0	4	0	0	4	95.28	0
	東 海	55	55	1	1	1	1	4	93.18	3
	東 知 多	62	62	0	1	1	1	3	96.79	0
	半 田 南	58	56	0	0	2	2	4	98.61	1
	知 多	36	39	0	3	0	0	3	88.89	0
6RC		340	345	1	9	4	4	22		8
西 尾 張 分 区	一 宮	80	79	0	1	0	2	4	99.01	0
	津 島	80	81	1	1	0	0	4	98.55	1
	尾 西	42	41	0	0	0	1	3	95.12	0
	稲 沢	65	65	0	0	0	0	4	90.42	0
	あ ま	93	95	2	2	0	0	3	98.53	0
	西春日井	40	42	1	2	0	0	3	100.00	2
	尾張中央	51	51	0	0	0	0	4	95.00	0
	一 宮 北	63	62	0	0	0	1	4	95.89	0
	一 宮 中央	64	63	0	0	0	1	4	95.59	5
9RC		578	579	4	6	0	5	33		8
東 尾 張 分 区	瀬 戸	82	84	1	2	0	0	4	100.00	3
	犬 山	84	85	0	1	0	0	4	100.00	0
	江 南	67	67	1	2	1	2	4	97.02	1
	小 牧	70	71	0	2	0	1	4	87.50	0
	春 日 井	80	81	1	1	0	0	4	96.75	4
	尾 張 旭	46	47	0	1	0	0	4	100.00	0
	名古屋空港	54	56	2	2	0	0	3	100.00	0
	瀬 戸 北	74	74	0	0	0	0	4	100.00	3
	岩 倉	27	25	0	0	0	2	3	97.33	0
	豊山ー城北	35	37	0	2	0	0	4	92.19	0
	愛知長久手	20	20	0	0	0	0	4	78.50	1
11RC		639	647	5	13	1	5	42		12
西 名 古 屋 分 区	名 古 屋	197	208	2	14	2	3	4	93.98	0
	名 古 屋 西	118	121	0	5	1	2	4	91.51	0
	名 古 屋 南	121	121	2	4	2	4	4	99.18	0
	名古屋みなと	99	100	0	2	0	1	4	100.00	0
	名古屋東南	81	83	1	4	1	2	4	97.36	5
	名 古 屋 中	145	145	1	1	1	1	3	99.44	0
	名古屋瑞穂	81	83	0	2	0	0	4	99.03	0
	名古屋大須	68	68	0	0	0	0	4	98.79	0
	名 古 屋 栄	80	83	0	3	0	0	2	100.00	0
	名古屋名駅	101	107	3	6	0	0	4	96.97	2
	名古屋名南	80	81	1	1	0	0	4	99.34	14
	名古屋西南	55	58	1	3	0	0	4	96.63	9
12RC		1226	1258	11	45	7	13	45		30
平均出席率		79	96.8752							

分 区	クラブ名	会 員 数		入 会		退 会		例 会 数	9月 出席率	女 性
		2002年 7月1日	2002年 9月末日	9月	累計	9月	累計			
東 名 古 屋 分 区	名 古 屋 北	105	108	1	3	0	0	4	99.74	0
	名 古 屋 東	98	98	0	0	0	0	3	94.17	0
	名古屋守山	69	71	0	3	1	1	4	95.00	6
	名古屋和合	99	102	1	3	0	0	4	100.00	0
	名古屋名東	75	75	0	0	0	0	4	100.00	6
	名古屋名北	56	55	0	0	0	1	4	99.39	7
	名古屋千種	69	70	0	1	0	0	4	97.27	6
	名古屋昭和	71	70	0	0	1	1	3	99.01	0
	名 古 屋 錦	41	40	0	0	0	1	4	98.69	8
	名古屋東山	58	64	0	6	0	0	4	96.83	1
10RC		741	753	2	16	2	4	38		34
東 三 河 分 区	豊 橋	118	121	3	3	0	0	4	97.53	4
	蒲 郡	68	69	0	1	0	0	4	94.00	0
	豊 橋 北	105	106	1	1	0	0	4	98.08	0
	豊 川	75	74	0	0	0	1	4	100.00	0
	田 原	70	70	0	1	1	1	4	97.12	1
	豊 橋 南	68	69	0	1	0	0	3	97.02	0
	新 城	68	67	0	0	0	1	4	91.29	0
	渥 美	43	42	0	0	1	1	4	90.41	0
	奥 三 河	35	35	0	0	0	0	4	94.30	3
	豊川宝飯	58	60	0	3	0	1	4	97.66	0
西 三 河 中 分 区	豊橋ゴールド	71	71	0	1	1	1	4	94.93	0
	田原パシフィック	71	71	0	0	0	0	4	93.53	0
	豊 橋 東	51	51	0	0	0	0	4	100.00	0
	13RC	901	906	4	11	3	6	51		8
	岡 崎	109	108	0	0	1	1	4	99.50	0
	豊 田	85	88	0	4	1	1	4	98.54	0
	岡 崎 南	108	109	0	1	0	0	4	98.21	3
	豊 田 西	97	100	0	4	0	1	3	99.61	0
	岡 崎 東	90	93	2	4	0	1	4	99.36	1
	豊 田 東	85	85	0	0	0	0	4	97.88	0
西 三 河 分 区	岡崎城南	75	77	1	2	0	0	4	98.66	0
	豊田三好	27	27	0	0	0	0	3	97.00	3
	豊 田 中	57	56	0	1	1	2	4	100.00	4
	9RC	733	743	3	16	3	6	34		11
	刈 谷	92	90	0	0	0	2	3	100.00	0
	安 城	71	71	0	1	0	1	4	93.74	1
	西 尾	76	78	0	2	0	0	4	97.10	1
	碧 南	76	80	0	4	0	0	4	98.85	0
	一 色	42	42	0	0	0	0	4	100.00	0
	高 浜	48	49	0	1	0	0	4	100.00	3
西 三 河 分 区	知 立	64	65	1	1	0	0	4	94.49	0
	西尾KIRARA	61	61	0	0	0	0	4	98.75	0
	三河安城	49	50	1	1	0	0	4	93.10	2
	9RC	579	586	2	10	0	3	35		7
地区合計		5737	5817	32	126	20	46	300		118

地区内クラブ数 79RC	2002.7.1 会員数	5,737名	増加会員数 (累計)	126名
	当月末会員数	5,817名 (内女性118名)	減少会員数 (累計)	46名
	当月平均出席率	96.88%	差引純増会員数 (累計)	80名



表紙を語る

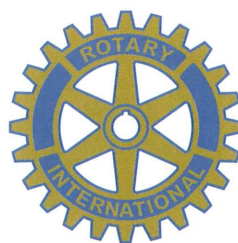
前田利家画像

江戸時代
名古屋市市中川区荒子 観音寺 (荒子観音) 蔵

NHKの大河ドラマにより、前田利家が尾張出身ということが、全国に知られることになりました。荒子観音の近くにある荒子城や前田城が前田氏ゆかりの城で、荒子観音は天正4年(1576)に利家が再建したと伝えられています。

利家の肖像画は京都の大徳寺芳春院や金沢の神社などに伝わっています。これらが人間味あふれる表情で描かれているのに対して、荒子観音に伝わる利家像は威風堂々たる姿で、菅原道真を描いた天神像によく似ています。利家は道真の末裔となっているので、興味深い肖像画だと言えます。

(名古屋市博物館 学芸員 鳥居和之)



ROTARY
INTERNATIONAL
DISTRICT 2760

国際ロータリー第2760地区
ガバナー 岡部 快圓

〒460-0011 名古屋市中区大須2-21-47 大須観音宝生院内
TEL 052-229-8110 FAX 052-232-1023
URL : <http://www.rotary2760.org>
E-mail : governor02-03@rotary2760.org
